



明るい芽生えと
実を結ぶ元年に

室蘭市議会議員

大久保 昇

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、希望に満ちた平成17年の新春を迎えられましたことを市議会を代表し、心からお喜び申し上げます。

本市の経済状況は、国内外の好調な需要に支えられ、基幹産業をはじめとしてようやく明るい兆しが見えてまいりました。

一方、新たなまちづくりとして、産学官が連携し取り組んできました環境産業に特化した事業も、様々な分野において明るい芽生えが感じられ、環境産業拠点都市が着実に形づくられてまいりました。

さらには、市民協働による自主・自立のまちづくりも活発になっているほか、三位一体改革など地方分権が進むに伴い、地方の独自性が強く求められる時代が到来し、市議会の果たすべき役割もますます重要となってきております。

市議会としましては、このような新たな動きを確かなものとしてとらえ、実り多い1年となるよう、市民とともに歩みを強めてまいりたいと存じます。

本年が市民の皆様にとって、心豊かで幸せ多い年となるよう、心からご祈念申し上げ、新春のごあいさつといたします。

市民協働で飛躍する
まちづくりの年に

室蘭市長

新宮 正志



市民の皆様、あけましておめでとうございます。
健やかに平成17年の新春を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は、室蘭港の輸出入額が過去最高を記録したほか、基幹産業もフル操業の状況にあり、さらに環境やIT関連企業の相次ぐ進出など室蘭地方にもやや明るさが見えてきたところでもあります。

一方、国の三位一体改革や道州制など将来の国と地方のあり方についての動きも盛んですが、まだまだ不透明な点も多く、今は市民の皆様と一緒に室蘭のもつ良さを生かしながら自主・自立のまちづくりに取り組む時であると考えております。

本年も行財政改革を進めながら、少子・高齢化時代にふさわしい福祉や教育の充実をはじめ、環境産業の推進や温泉開発、東室蘭駅の周辺整備、そして移住・定住対策などの施策を展開しながら、さらなる飛躍の年にしたいと考えております。

市民の皆様と力を合わせ、安心・安全なまちを目指してまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご多幸を心からお祈りし年頭のごあいさつといたします。

新年のあいさつ

